



ヒレンジャク

## 里山に育む生きものたち

### 49 ヒレンジャク (スズメ目 レンジャク科)

学名 *Bombycilla japonica*

写真 / 清水 道雄  
文 / 山口 萬壽美

チリチリ、「チーチー」と鳴き、分布は世界的に広く、ユーラシア中部、北アメリカなどで繁殖します。また、日本へは冬季に全国に渡来します。

#### ▼観察メモ

ヒレンジャクに初めて出会ったのは、平成元年の春でした。当時の里美村（現・常陸太田市）で、野鳥の調査をしていた時、キズタ（つる性木本）やジャヒゲ（ユリ科）などの実をついばんでいる光景を見ました。

親沢公園では、約10年前頃から、高さ20メートルのエノキの大木にヤドリギが寄生して15株となりました。3月に入るとその実が赤く熟しています。そこへ数年前頃からヒレンジャクとキレンジャクの両種が渡来し、しばしば鈴なりになって採餌している姿を観察することができ、人気が高いようです。

#### ▼野鳥観察台設置

潤沼ラムサール条約の登録後、今年3月、親沢の南側・網掛公園に、「野鳥観察台」が設置されました。自然観察の折、望遠鏡や双眼鏡などで、そこから潤沼を一望してみましよう。美しい自然の景観と年間を通じて、カモ類やミサゴなど、多くの水辺の鳥たちが見られ、自然観察がより楽しくなります。

#### ▼生態的な特徴

ヒレンジャクは、体が太く、丸味があり、赤紫がかった淡褐色、長い冠羽が美しく輝いて見えることから、多くのファンを親沢公園に引きつけました。この鳥は風切先端は赤く、切列風切先端も赤いのが特徴です。日本では冬鳥として全国に渡来します。

鳴き声は「チリチリチリ」または「ヒリヒリヒリ」と発する細い声や、「ヒーヒー」というかん高くもか細い声が聞こえてきます。

#### ▼分布

ロシアのウスリーで繁殖し、朝鮮半島・中国南東部で越冬する。日本へは冬鳥として全国に渡来しますが、特に西日本に多く、渡来数は年によって大きな差があるようです。

#### ●生息場所

平野から山地の林と広く、人家の庭や公園などにも現れます。

#### ●類似種

尾の先端が黄色はキレンジャクであり、両種は一緒に行動することがあります。キレンジャクの鳴き声は「チリ



キレンジャク

### 編集・発行 / 茨城町 町長公室 秘書広聴課

〒311-3192 茨城県東茨城郡茨城町小堤1080 TEL 029-292-1111 FAX 029-292-6748  
ホームページアドレス <http://www.town.ibaraki.lg.jp/> メールアドレス [ibarakit@town.ibaraki.ibaraki.jp](mailto:ibarakit@town.ibaraki.ibaraki.jp)

DATA

#### 茨城町の人口と世帯数

※カッコ内は前月比です。  
(住民基本台帳 平成28年3月末現在)

- ◆総人口 33,385人 (-56)  
男 16,648人 (-27)、女 16,737人 (-29)
- ◆世帯数 12,644世帯

DATA

#### 茨城町民憲章

- 1 ふるさとの自然を守り、美しい環境の町をつくりましょう。
- 1 からだをきたえ、教養を高めて、すこやかな町をつくりましょう。
- 1 隣人や家庭の愛を大切に、まごころのかよい合う町をつくりましょう。
- 1 自分の仕事に責任と誇りをもち、活気に満ちた町をつくりましょう。
- 1 文化遺産を愛護し、先人の努力に感謝できる町をつくりましょう。

再生紙を使用しています



※ 印刷に優しい大豆インクを使用しています